

# ミカドテクノス製 スタンプ式めっき処理装置

～固相電析(SED)法による新たな表面処理技術～

めっき薬品の使用を大幅に低減した、環境負荷の少ない技術を提案します

# スタンプ式真空めっき処理装置

## 特徴

- ・トヨタ自動車開発の固相電析 (SED) 法を採用したスタンプめっき方式
- ・従来のウェット装置と比較して大幅な省スペース化を実現
- ・ワークを浸漬させない為、使用薬品量・廃液を大幅に低減
- ・ワーク表面付近の陽イオン空乏層ができにくく、高い電流密度で高速めっきをすることが可能。
- ・固体電解質膜により、めっき液中の異物がワークに接触しない。
- ・ミカドテクノスが長年培った真空プレス装置のノウハウ

## <装置概要>

本体寸法: 幅1200 × 奥行1050 × 高さ2100mm

ワークサイズ: 最大100 × 100mm、厚み5mm以下

液タンク容量: 3L

処理可能下地: 一般的な電解めっき同様

対応表面処理: 硫酸銅めっき(光沢、無光沢)

※Cu以外の表面処理は開発中につき、ご要望の場合は別途ご相談ください。

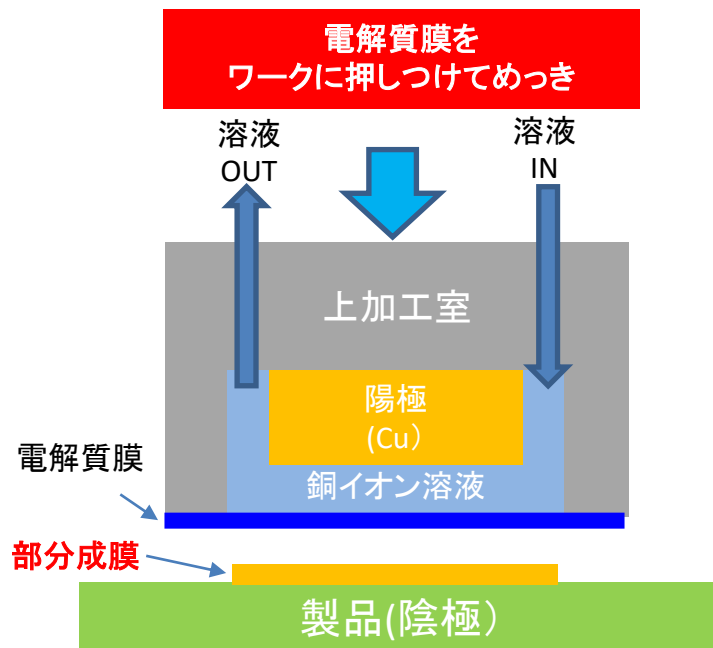


「加圧」技術をコアに「価値」を提供します

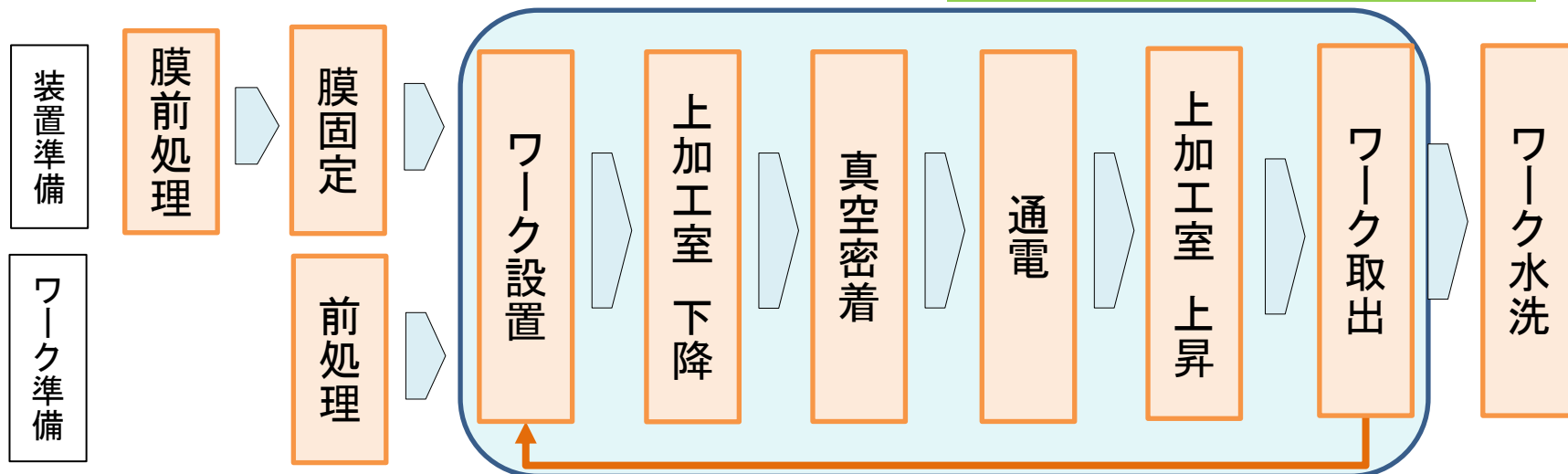


# めっき原理・工程

- ①電解質膜をめっき液中の金属イオンが透過  
→めっき液はワークに触れない
- ②めっき中は膜とワークが真空で密着する
- ③ワーク上で金属イオンが電子を受け取り析出



## めっき工程概略



# デモ機のご案内

実際にスタンプ式めっき装置を使用してめっき付けを行うことが可能です。

場所:ミカドテクノス(株) 長野本社工場

住所:長野県上伊那郡箕輪町三日町888



## <デモ機対応>

対応ワークサイズ:最大100mm×100mm

ワーク形状:基本凹凸のないもの

対応下地:純銅、リン青銅

表面処理:銅めっき(光沢、無光沢)



## ※注意点

- ・ SEM、膜厚計等の分析設備はございませんので、めっき付け試作のみの対応となります。
- ・ 基材は純銅板(67×100×0.3mm)を準備しておりますが、お客様で基材を持ち込まれる場合は事前にご相談をお願い致します。凹凸形状に関してもご相談ください。